

安行小の環境学習・活動の紹介

アカガエル再生プロジェクト

菊次 哲也

アカガエルというカエルを見たこと
がありますか？昔、ひいおじいちゃん、
ひいおばあちゃんの子どもの頃には安
行にたくさんいたそうです。当時は食
生活も豊かではありませんでしたか
ら、貴重な蛋白源として子ども達は食
べることもあったそうです。赤堀用水
で子ども達は泳ぎ、竹の道具でナマズ
をつかまえたという時代です。今では
アカガエルを見ることはほとんどあり
ません。安行だけでなく、埼玉県の準
絶滅危惧種に指定されています。この
アカガエルを卵から育てて大人になっ
たら放すという活動を安行小学校では
行っています。題して「アカガエル再
生プロジェクト」です。

安行ではほとんど見ることでできな
くなったアカガエルの産卵の場を守っ
てきた地域の植木屋さんがいます。そ
の方から戸塚南小学校が卵を受けとり
戸塚のアカガエル再生
に取り組んでいます。
その戸塚南小学校か
ら、安行小学校が卵を
受けとり、子ども達が
安行のアカガエル再生
に取り組み始めまし



た。四年前の三月十五日、安行原自然
の森でアカガエルの卵を受けとりまし
た。

アカガエルは次のようにして子ども
達が育てています。

- ① 環境委員会がアカガエルの卵を
一くすのきで販売。
- ② 卵を買い取った子どもたちは説
明のパンフレットを参考にしな
がら家で育てる。
- ③ 前足、後ろ足が出ておたまじゃ
くしからカエルになったアカガ
エルを学校に持ってくる。
- ④ 環境委員会が五くすのきで買い
取り放す。

川の博物館のカエル専
門の学芸員さんからは
「アカガエルを大人にし
るのは難しいです」と言
われたことがあります
が、どうしてどうして子



ども達はとても上手です。子ども達の
純粋な「生きものを大切に作る心」が
そうさせるのでしょう。今年は校長室



前の小さな池にもアカ
ガエルの産卵がありま
した。安行小では校長
室前の小さなしげみに
もアカガエルたちがく
らしています。